

年 表 ～ 明治以降の県内社会資本整備のあゆみと主な出来事 ～

西暦	元号	県内の社会資本整備に関する事項	事例番号	国内の事項
1868	明治元年			明治維新
1871	4	廃藩置県により24県が房総に誕生、県の統廃合により木更津、印旛、新治の三県に統合		
1872	5	堀江水準標石、飯沼水準標石設置	6	
1873	6	千葉県が誕生し、舟運の中心市場町に県庁が置かれ、政治交通の中心として栄えた 鋸山公園(鋸南町)を地盤国有公園として開設	18	千葉県設置 人口約100万人 大政官布達
1874	7	県庁裏公園(現羽衣公園)開設	18	
1875	8	利根川直轄工事始まる		
1887	20			横浜市で近代水道導入
1888	21	(旧)明鐘トンネル完成 めがね橋完成	3 4	東京市区改正条例制定
1889	22	町村合併で県内2,457町村が358町村となり、町村制施行(明治の大合併)		
1890	23	利根運河完成	9	
1894	27	総武鉄道開通(市川～佐倉間、市川～本所(現在の錦糸町)間)		日清戦争勃発(～明治28年)
1896	29			旧河川法公布
1897	30	総武鉄道が銚子まで開通		砂防法公布 土地区画改良に関する件 (土地区画整理事業に関する法制の第1歩)
1899	32			旧・耕地整理法公布
1900	33	利根川第1期改修工事着手 (低水路の開削と河道の付替え、河状の整正や築堤工事:河口～佐原42km)	7	下水道法公布
1903	36	多古町で耕地整理が行われる	16	
1904	37	柳原水閘竣工	10	日露戦争勃発(～明治38年)
1907	40	利根川第2期改修工事着手 (佐原～取手52km)	8	
1908	41	木更津町は工費70,000円をもって航路の浚渫と防波堤を築造、明治45年完成	13	
1909	42			新・耕地整理法公布
1910	43	県が工費25万円で都川河口及び前面水域を水深-2mに浚渫して船溜を設け、民間資本でこの船溜に沿い11万㎡の出洲埋立地を作り、荷揚場を築いた	11	利根川改修計画策定 (稀有の洪水に見舞われ計画高水改定)
1911	44	葛飾橋完成(木橋)	2	広告物取締法公布
1912	大正元年	蘇我・木更津間に鉄道が開通		
1914	3	朝日森公園(天津小湊町清澄山)を地盤国有公園として開設		第一次世界大戦勃発(～大正7年)
1919	8			旧都市計画法公布 旧道路法公布(戦前における道路整備の基本となる法律)
1920	9	第1回国勢調査実施(県人口1,336,155人、世帯数259,026)		
1921	10			公有水面埋立法公布
1922	11	千葉港 内務省告示第131号により港湾指定	11	
1923	12	安房郡、君津郡、市原郡で被害大		関東大震災 旧特別都市計画法公布
1926	15	木更津港 内務省告示第131号により公有水面埋立法に基づく指定港	13	
1929	昭和4	房総線(現外房線・内房線)が全通し環状線が実現		
1931	6			国立公園法公布
1932	7	県で初めての都市計画区域指定(千葉都市計画区域) 木更津港 県は工費419,000円をもって5か年継続工事として本格改修に着手	15 13	
1933	8	千葉県内務部土木課内に水道係を設置 上水道布設許可申請 県立公園条例制定(国立公園法に準ずるもの)	21	
1935	10	千葉市下水道事業着手	20	
1936	11	千葉浄水場(現千葉分場)給水開始	21	
1937	12	千葉高架水槽完成 栗山配水塔完成 木更津港吾妻地区に航路、泊地、防波堤、護岸が完成	22 22 13	
1938	13			厚生省発足
1939	14			利根川増補計画策定(太平洋戦争の勃発で工事進捗せず)
1940	15	古ヶ崎浄水場通水開始 東京湾臨海工業地帯計画が内務省土木会議で決定され、その一環として、千葉市今井町地先海面300haの埋立を計画し200haを埋立てたが終戦で中止	21 12	
1941	16			太平洋戦争勃発
1943	18	千葉市に防空緑地として都緑地として都緑地を都市計画決定		内務省国土局が全国自動車一般国道計画立案(総延長5,490km、工事費約65億円)
1944	19	木更津港 港内防波堤、棧橋を築造し、航路、泊地を浚渫し港の整備を図る		
1945	20	銚子市、千葉市に大空襲		太平洋戦争終結 戦災地復興計画基本方針が閣議決定 県人口200万人到達 旧特別都市計画法公布
1947	22	千葉都市計画事業復興土地区画整理事業都市計画決定(387ha) 銚子都市計画事業復興土地区画整理事業都市計画決定(279ha)	16 16	戦災復興院告示第49号 戦災復興院告示第50号
1947	22	土地区画整理施行規程制定(千葉県告示第550号)		日本国憲法施行 地方自治法公布 カスリーン台風(関東・東北地方に被害大、利根川決壊)
1948	23	千葉都市計画事業復興土地区画整理事業計画決定(386ha)		建設省発足 港則法公布 道路の補修に関する法律公布・施行 屋外広告物法公布
1949	24			水防法公布 耕地整理法廃止

西暦	元号	県内の社会資本整備に関する事項	事例番号	国内の事項
1950	25	川崎製鉄㈱の誘致決定（千葉市今井町）		建築基準法公布 港湾法公布
1951	26	富津公園、鋸山、南房総公園指定		
1952	27	地方公営企業法の制定を受け、千葉県水道局を設置 千葉市今井町地先旧日立航空機跡の60万坪の埋立地を千葉市が川崎製鉄㈱に譲渡 印旛沼干拓工事水路掘さく砂により千葉市幕張地先2.4万坪埋立		旧道路整備特別措置法公布 特定道路整備事業特別会計法公布 道路法公布（道路を1級、2級、都道府県道、市町村道の4種とし、管理体制を定める） 地方公営企業法公布(10月1日施行)
1953	28	千葉港及び船橋港の港湾区域を決定し、千葉県が千葉港及び船橋港の港湾管理者になる 港湾法に基づき千葉港及び船橋港が地方港湾に指定 千葉航路、泊地、川崎正面岸壁が完成、6月13日第1船高栄丸(10,000DWT、大同海運)入港 木更津港が港湾法に基づき地方港湾に指定され、港湾区域を決定し千葉県が港湾管理者になる		土地区画整理法公布
1954	29	千葉港(港則法上の区域、旧船橋・市川港を除く)が政令第150号により関税法上の開港に指定 千葉市蘇我町に東京電力㈱を誘致し、305,120㎡(92,460坪)の埋立工事に着手 臨海地域の土地造成開始		
1955	30			日本住宅公団設立
1956	31	君津町地先に新日本製鉄㈱が進出 船橋市湊町、海神町地先埋立工事開始 千葉県産業振興3ヶ年計画にて内湾3,305ha(1,000万坪)の埋立構想発表 松戸市下水道事業着手（昭和35年 供用開始）		都市公園法公布 日本道路公団発足 首都圏整備法公布 海岸法公布 R・J・ワトキンス調査団来日 (日本の道路に対する所見「日本の道路は、信じ難いほどに悪い。工業国にして、これほど完全に、道路網を無視してきた国は、日本の他にない」)
1957	32	千葉港 港湾法に基づく重要港湾に指定 五井・市原地区埋立造成工事開始	12 12	国土開発縦貫自動車道建設法公布・施行 高速自動車一般国道法公布・施行 水道法公布(12月14日施行)
1958	33	千葉市神明町地先埋立工事着手 国鉄千葉駅長洲町への移転開業 京成千葉駅本千葉町への移転開業 粟山浄水場通水開始 千葉県最初の有料道路として芽吹大橋完成 主要地方道つくば野田線（10年後の1968年に無料開放）	21, 22	下水道法改正 工業用水道事業法公布 旧道路構造令公布（道路構造の一般的技術基準）
1959	34	富津公園の旧軍用地を無償貸付 県開発部設置 市川市は二俣新浜より上妙典地先 482,500坪の埋立工事着手 船橋市下水道事業着手（昭和36年 供用開始） 佐原市下水道事業着手（昭和55年 供用開始）		道路法の一部改正（自動車専用道路制度創設）
1960	35	県立都市公園条例制定 富津公園、手賀沼公園開設 京葉道路1期(東京都江戸川区～船橋市)供用開始 浜金谷港 フェリーポートによる金谷・久里浜航路開設 柏市下水道事業着手（昭和45年 供用開始）	19	チリ地震、太平洋岸各地に津波
1961	36	京葉臨海工業地帯造成計画11,240ha(3,400万坪) 千葉市稲毛地先に住宅用地埋立工事開始 五井、姉崎地区14,281,000㎡の埋立工事に着手 市川市下水道事業着手（昭和47年 供用開始）		宅地造成等規制法公布
1962	37	君津地区埋立造成工事開始 五井・市原地区埋立完了 銚子大橋完成（一般国道124号 橋長1,203mは当時国内最大級。老朽化により平成25年に架け換え）		「利根川水系水資源開発基本計画」決定 全国総合開発計画が閣議決定（拠点開発構想）
1963	38	千葉一般国道工事事務所が設置され、一般国道16号及び51号の改築事業が開始 国鉄千葉駅移転開業 習志野地先埋立造成工事着手（住宅公団よりの受託工事）		新住宅市街地開発法公布 名神高速道路尼崎～粟東間供用開始（わが国初の高速自動車道）
1964	39	浦安地区埋立造成工事開始 民間テベロッパーとの共同事業により千葉市出洲地先610haの埋立造成工事を開始 (民間資本導入方式＝千葉方式)		道路法一部改正（一般国道の1級、2級廃止 一般国道に統一） 住宅地造成事業に関する法律公布 河川法改正（水系一貫管理、目的に利水を追加） 東海道新幹線開通 東京オリンピック開催
1965	40	千葉港中央地区に食品コンビナート進出決定 五井市原地区工業用水道給水開始(120,000㎡/日) 千葉港 港湾法に基づく特定重要港湾指定 木更津～横浜間、木更津～川崎間にフェリーが就航 県庁公園を改修し、羽衣公園として開設	12 14 18	
1966	41	成田市三里塚に成田国際空港建設が決定 千葉ニュータウン構想発表		
1967	42	五井・姉崎地区埋立工事完成 千葉港中央地区の埋立工事に着手		下水道法改正 旧公害対策基本法公布
1968	43	千葉港中央地区埋立工事完成 成田ニュータウン造成事業開始 木更津港 港湾法に基づく重要港湾指定 船橋・市川港が千葉港に編入 (港湾区域が拡張され市川市の一部、船橋市、習志野市、千葉市、市原市、袖ヶ浦町の一部の5市1町地先海面が港湾区域に) 柏井浄水場一部通水開始（現在の西側施設） 印旛沼流域下水道事業着手 印旛沼流域関連(千葉市・船橋市・八千代市・佐倉市・鎌ヶ谷町・成田市・四街道町・印西町・白井町・酒々井町・本埜村・印旛村で12市町村)	14	県人口300万人到達 新都市計画法公布
1969	44	千葉中央ふ頭A岸壁供用開始 第1回千葉県都市計画審議会開催 一般国道51号佐倉バイパス 酒々井～佐倉拡幅完成 印旛沼開発事業完成	21 20	地下鉄東西線全線開業 新全国総合開発計画が閣議決定（大規模プロジェクト構想） 都市再開発法公布
1970	45	宅地開発事業等の基準に関する条例が施行 千葉県営水道事業北総地区水道事業認可（北総地区創設事業） 第1回千葉県開発審査会開催 県開発庁設置(昭和49年に県企業庁に組織変更) 船橋・習志野都市計画事業津田沼駅北口土地区画整理事業都市計画決定（12ha） 市街化区域・市街化調整区域の設定（当初線引き） 千葉県大規模宅地開発指導要綱が施行		日本万国博覧会開催（3.15～9.13） 地方道路公社法公布・施行 道路構造令公布 「公害国会」下水道法改正（公共用水域の水質の保全の目的が追加）

西暦	元号	県内の社会資本整備に関する事項	事例番号	国内の事項
1971	46	利根川河口堰竣工 千葉県道路公社設立 県の組織に都市部を新設（都市行政を統括的に所管する部署として全国に先駆けて新設）		
1972	47	千葉海浜ニュータウン幕張地区分譲開始 手賀沼流域下水道事業着手 手賀沼流域関連（松戸市・柏市・流山市・我孫子市・鎌ヶ谷市・印西町・白井町・沼南町で8市町） 北千葉広域水道企業団設立（県と7市2町参加）	20	沖縄が日本に復帰 都市モノレールの整備の促進に関する法律公布・施行
1973	48	江戸川左岸流域下水道事業着手 江戸川左岸流域関連（松戸市・市川市・柏市・野田市・流山市・船橋市・浦安町で7市町） 富津公園ジャンボプール開園 千葉県において新用途地域への移行（4用途地域→8用途地域）	20	第1次石油ショック
1974	49	印旛沼流域下水道供用開始	20	県人口400万人到達
1975	50	北総浄水場通水開始 蓮沼海浜公園開設（ウォーターガーデン開園）	21	大都市地域における住宅地等の供給の促進に関する特別措置法公布 沖縄国際海洋博覧会開催（7.20～1.18）
1976	51	人工海浜「いなげの浜」がオープン（我が国初の人工海浜） 第1回線引き見直し		河川管理施設等構造令公布
1977	52	行田公園開設	19	第三次全国総合開発計画が閣議決定（定住構想）
1978	53	新東京国際空港（現在の成田国際空港）開港 市街化区域・市街化調整区域の見直し方針		
1979	54	千葉東金道路供用開始 市川航路開削工事開始 一般国道16号（野田～千葉）4車線化完成		
1980	55	柏井浄水場東側施設通水開始 連続立体交差事業（東武野田線）高架化（船橋駅～塚田駅） 高架切替、一部複線化	21	都市計画法改正
1981	56	手賀沼流域下水道供用開始 江戸川左岸流域下水道供用開始 連続立体交差事業（総武線）高架化（新検見川駅～千葉駅）		
1982	57	東関東自動車道（市川～宮野木）供用開始、首都高速湾岸線と接続		
1983	58	千葉新産業三角構想策定		東京ディズニーランド開園 県人口500万人到達
1984	59	館山運動公園開設		
1985	60	千葉外房有料道路全線開通		科学万博つくば85開催（3.17～9.16）
1986	61	市街化調整区域における開発行為の取扱要綱施行 県都1時間構想 幹線道路網43路線を公表（ふるさと千葉5か年計画） 青葉の森公園開設 千葉ポートタワー完成	19	
1987	62	幕張メッセ建設工事着手 利根川・江戸川のスーパー堤防が計画決定 全国初のスーパー堤防事業として栄町矢口地区で事業着手		千葉県東方沖地震（12月17日 M6.7 震度5 死者2名）
1988	63	千葉都市モノレール（スポーツセンター～千城台間）開通		
1989	平成元年	幕張新都心地区に「幕張メッセ」オープン		
1990	2	JR京葉線全線開業		
1992	4	栄町矢口地区スーパー堤防竣工	8	千葉市が政令指定都市に移行
1993	5	福増浄水場通水開始	21	建設省告示（第1270号）で主要地方道が追加指定
1994	6	印旛沼流域下水道 花見川第二終末処理場供用開始		
1995	7			阪神・淡路大震災発生（1月17日）
1996	8	東葉高速鉄道開業		
1997	9	東京湾アクアライン開通 木更津～川崎間の東京湾フェリーが廃止		
1999	11	妙典給水場通水開始		
2001	13			東京ディズニーシー開園
2002	14	ちは野菊の里浄水場 建設開始	22	県人口600万人到達
2004	16	富津館山道路全線開通		景観法公布
2005	17	つくばエクスプレス（秋葉原～つくば間）開業		
2006	18	銚子連絡道路（松尾横芝～横芝光間）開通		
2007	19	館山自動車道が全線開通 ちは野菊の里浄水場通水開始	22	
2010	22	館山港多目的桟橋供用開始		
2011	23	太平洋沿岸を中心に津波襲来 東京湾沿岸の埋立地や利根川沿いなどで液状化現象が発生		東日本大震災発生（3月11日） 三陸沖を震源とする、我が国の観測史上最大規模となるM9.0の地震。県内最大震度6弱
2013	25	圏央道（東金～木更津間）開通		
2014	26	「都市計画見直しの基本方針」策定（社会経済情勢の変化に対応した都市計画の見直しの行うため、10年ぶりに見直し）		
2015	27	成田国際空港「第3旅客ターミナル」オープン		
2016	28	千葉みなと駅前旅客桟橋及び旅客船ターミナル等複合施設オープン		
2017	29			市原市田洲の地磁気逆転期地層が「チバニアン」（ラテン語で「千葉の時代」の意）命名へ

本年表は、千葉県土木史（平成19年3月 県土整備政策課）及び県政10大ニュース（報道広報課）をもとに一部加筆修正した